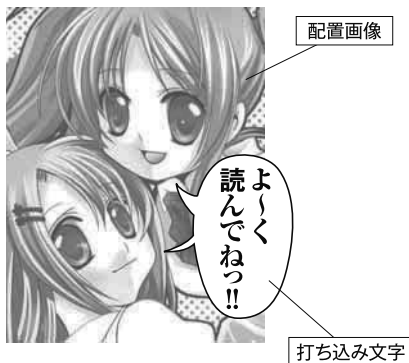


Illustratorでの配置画像について

(Illustrator CS3の場合)

ファイル保存時の設定次第で思わぬ結果となる事態に。



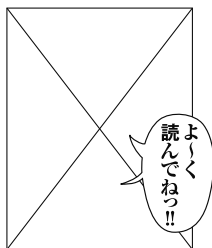
Illustrator上で、画像を配置した上からセリフなどの文字を打ち込むという制作方法がよく見られます。文字がアウトライン化されていれば、文字化け等レイアウトの変化もなく、解像度に依存されないので美しい文字が再現されます。今回はIllustratorで配置画像を扱う際の注意点をいくつかお話しします。

1 EPSオプションの選択

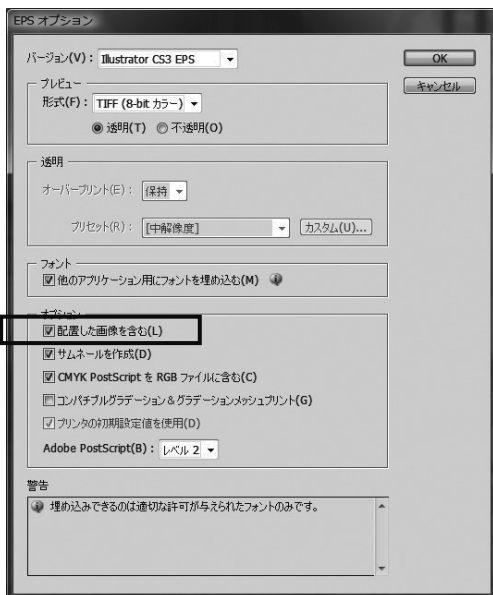
ファイル保存時のEPSオプションで注意していただきたいのは、「配置した画像を含む」にチェックが入っているか?ということです。このオプションにチェックが入っていないと、**印刷用データの生成時に配置画像が消えてしまう現象****が起る可能性があります。



チェックON



チェックOFF



配置した画像を含む:チェックON

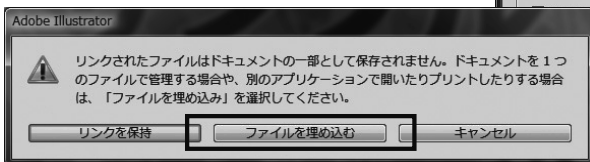
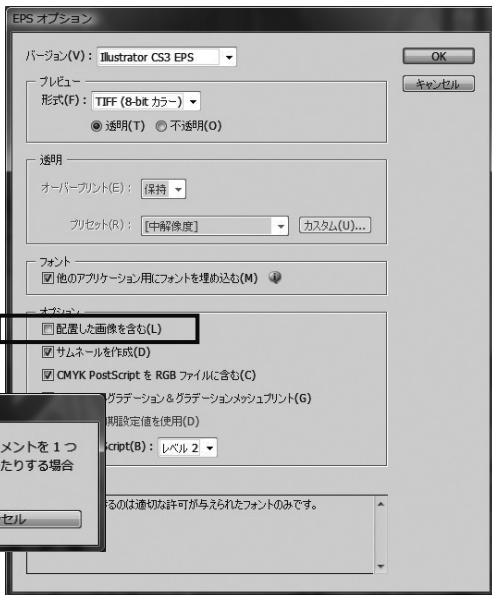
配置画像をファイルに含めるのでファイルサイズは大きくなってしまいますが、このオプションは忘れずにチェックして下さい。

**Illustratorからプリンタ出力を行う場合にはこの現象は起こりません。

右図は前述したチェックが外れている状態です。このままOKをクリックすると、下図のような警告が現れます。

警告にも書かれているとおり、Illustrator以外のアプリケーションでデータを扱う場合(例えばAcrobatでPDF化する等)に「ファイルを埋め込む」を選択しないと画像(リンクされたファイル)が反映されません。

つまり画像が埋め込まれて、初めて印刷用のデータとして成立するというわけです。



2 個別に画像埋め込み

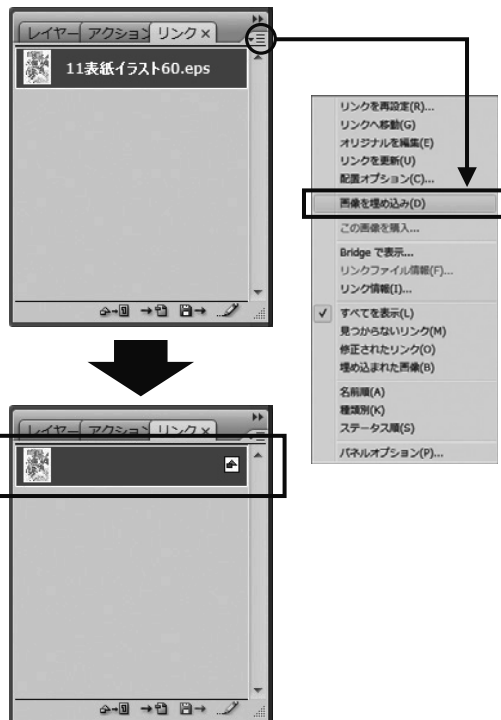
画像の埋め込みを、ファイル保存時ではなく制作中に個別に行う方法も紹介します。

右上図のようにリンクウィンドウを開いて埋め込みたい画像を選択後、サブメニューを呼び出して「画像を埋め込み」をクリックすれば完了です。(右下図の様に表示が変化します)

画像を埋め込み:ON

このように画像をあらかじめ埋め込めば大元のリンク画像は不要となり、印刷に必要なファイルはIllustratorデータのみという事になります。

しかし印刷会社によっては「リンク画像も入稿時に必要」という会社もありますので、入稿時には必ず各印刷会社の入稿手引きを参照するか、問い合わせてご確認下さい。



配置画像は「含む」又は「埋め込み」を!!